|  |  |
| --- | --- |
| 受理番号 |  |
| 受理年月日 |  |

(事務局使用欄：Official Use)

2026年度高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所

中性子共同利用S1型実験課題申請書兼東京大学物性研究所IRT課題申請書

Application form for S1 type research project, KEK　　Application form for IRT type research project, ISSP

高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所長　殿

東京大学物性研究所長　殿

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| To Director of Institute of Materials Structure Science, KEK | 申請日 |  | 年 |  | 月 |  | 日 |  |

To Director of Institute for Solid State Physics, the University of Tokyo

|  |
| --- |
|  |

０）　実験代表者情報　[ Information of principal investigator ]

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| E-Mail | ： |  |
| 氏名　Name | ： |  |
| 所属機関・部局　Affiliation | ： |  |
| 職名 Status | ： |  |
| 住所 Address | ： |  |
| 電話 Tel | ： |  |
| ファクス Fax | ： |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| E-Mail | ： |  |
| 氏名　Name | ： |  |
| 所属機関・部局　Affiliation | ： |  |
| 職名 Status | ： |  |
| 住所 Address | ： |  |
| 電話 Tel | ： |  |
| ファクス Fax | ： |  |

|  |
| --- |
|  |

1) 基本情報　[ Basic Information ]

i) 実験課題名 [ Title of project]

|  |
| --- |
| 日本語（in Japanese） |
| 英語（in English） |

ii)　研究の概要 [abstract]（500字以内）

|  |
| --- |
|  |

2) 研究組織

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実験代表者 | 氏名 | 所　属  部　局  職 | 現在の専門  学　　　位  役割分担 |
|  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 合計　　　名 | | | |

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）

3) 研究目的

　本欄には、研究の全体構想及びその中での本研究の具体的な目的について、冒頭にその要旨を記述した上で、適宜文献を引用

しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。

①　研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に

至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）

②　研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか

③　当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

|  |
| --- |
|  |

研究目的（つづき）

|  |
| --- |
|  |

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）

4) 　　研究計画・方法

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその要旨を記述した上で、全体計画と経過、及び

2026年度の計画と2027年度以降の計画に分けて、適宜文献を引用しつつ、記述してください。

特に以下の点について、具体的な計画の記述をしてください。

1.　装置の性能を最大限に引き出す先導的実験手法・解析手法の開拓及び機器開発

2.　先導的プロジェクト研究

3.　研究が当初計画どおりに進まない時の対応など、多方面からの検討状況について述べるとともに、研究計画を遂行する

ための研究体制について、具体的な役割（図表を用いる等）及び学術的観点から研究組織の必要性・妥当性及び研究目

的との関連性についても述べてください。

　　 4.　1年間（2026年度）の申請ビームタイムを(1)研究 (2)開発・調整等 (3)物構研マルチプローブ課題に分けて記載ください。

|  |
| --- |
|  |

研究計画・方法（つづき）

|  |
| --- |
|  |

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）

5) 実験組織

本欄には、本研究を実施する上での共同実験者とそれぞれの役割を記述してください。

特に装置の建設、開発とこれを用いた利用研究支援の体制を含めて具体的に記述してください。

|  |
| --- |
|  |

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）

6) 研究経費の概算と内訳

本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、年度毎の研究経費の概算と内訳を記述してください。

また、その妥当性・必要性・積算根拠についても記述してください。

|  |
| --- |
|  |

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）

7) 当該課題の発表論文リスト

|  |
| --- |
|  |

（ページが不足の場合は追加して記入ください。）